

# 研 究 活 動

(2015年10月～2016年9月)

## 心理学科

### 池田豊應

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
「ヨコ体験グループ」とは	単著	2016年3月	愛知学院大学 心理臨 床研究 17		pp.7-19.
「共通感覚」の問題 - 不登校生徒のためのグループ・アプロ ーチ(17)	○ 共著	2016年3月	愛知学院大学 心理臨 床研究 17	池田豊應, 槌山 愛, 江崎花織, 杉山陽子, 赤羽優子	pp.21-36.
ある精神病者の歩み - 現存在分析的考察 -	共著	2016年3月	愛知学院大学 心理臨 床研究 17	桃木徳博, 池田豊應	pp.37-52.
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
巻頭言	単著	2016年3月	愛知学院大学 心理臨 床研究 16		pp.1-2
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
不登校生徒のためのグループ・アプロ ーチ (61) - 2015年度 ヨコ体験グループのまとめ -	共同 発表	2016年6月	東海心理学会 第65回 大会(名古屋市立大学)  大会発表論文集	池田豊應, 河崎遼大, 赤羽優子, 中村 翠, 桃木徳博, 鈴木友佳子, 鈴木規浩	p.20
不登校生徒のためのグループ・アプロ ーチ (62) - 集団心理療法における合宿の意味 その 1 -	共同 発表	2016年6月	東海心理学会 第65回 大会(名古屋市立大学)  大会発表論文集	池田豊應, 田中千尋, 江崎花織, 杉山陽子, 井上丈夫, 田沼 圭	p.21

### 石田光男

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Abdominal Circumference Correlates with Postural Sway of the Antero-Posterior Axis in Pregnant Women.	共著	2016年6月	Mathews Journal of Gynecology & Obstetrics 1巻	Nagai M, Ishida M, Saitoh J, Hirata Y, Natori H, and Wada M	pp.1-6

### 岡本真一郎

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
悪意の心理学 悪口, 嘘, ヘイト・スピーチ	単著	2016年7月	中央公論新社		pp.1-309
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Irony and the sender's overconfidence: Effects of contextual factors and emoticons in E-mail	単著	2015年12月	愛知学院大学心身科学 部紀要 11		pp.57-66

## 生越達美

C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. コラーゲ療法	講師	2015年11月	京都コラーゲ療法研究会	キャンパスプラザ京都	
2. ストレスチェックとこころのケア	講師	2015年11月	産業医セミナー	愛知産業保健総合支援センター	
3. ストレスチェックとこころのケア	講師	2016年1月	精神保健従事者対象セミナー	愛知産業保健総合支援センター	
4. 心身問題について	講師	2016年2月	精神保健従事者対象セミナー	愛知産業保健総合支援センター	

## 齋藤 眞

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
円描画における色枠付け法の実験的研究	共著	2015年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要 第11号	池田真夕, 齋藤 眞	pp. 11 - 20
青年期におけるアイデンティティの確立と依存性との関連	共著	2015年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要 第11号	谷口美奈, 齋藤 眞	pp. 35 - 46
風景構成法における人物と自我同一性の関連	共著	2016年3月	愛知学院大学心身科学研究紀要 第8巻1号	作元志穂, 齋藤 眞	pp. 89 - 97

  

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
各適応指導教室によるグループ討議と発表を受けての助言	講師	2015年10月	愛知県適応指導教室連絡協議会地域別研修会(尾張地区)	齋藤 眞	
事例検討会(コメンテーター)	講師	2015年11月	名古屋市子ども適応相談センター研修会	齋藤 眞	
適応を身につけてゆくこと	講師	2016年1月	名古屋市子ども適応センター研修会	齋藤 眞	
「自分の心のことを考え人生を味わう場とタイミング」	講師	2016年4月	名古屋市子ども適応センター研修会	齋藤 眞	
「面接の実際 I (親面接)」	講師	2016年4月	名古屋市教育センター	齋藤 眞	
「思春期の子どもと親の対応」	講師	2016年7月	三重県立神戸高校	齋藤 眞	
子ども理解を深める(不登校)	講師	2016年8月	名古屋市生徒指導研究会	齋藤 眞	
子ども理解を深めるための教育相談講座(いじめ・不登校・学習)	講師	2016年8月	名古屋市教育センター	齋藤 眞	

## 榊原雅人

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. ネガティブ語に対する事象関連電位 - 心拍変動バイオフィードバックの効果の検討 -	学会発表	2016年5月	第34回日本生理心理学会大会, 名古屋	榊原雅人	
2. 心拍変動バイオフィードバックが抑うつ認知処理に及ぼす影響	学会発表	2016年5月	第77回日本心身医学会中部地方会, 名古屋	榊原雅人	
3. 心拍変動バイオフィードバックの方法と作用機序 - リラクゼーション訓練としての適用可能性の提案 -	学会発表	2016年6月	東海心理学会第65回大会, 名古屋	榊原雅人	

4. 心拍変動バイオフィードバック簡便法の検討－安静時 LF 周波数を利用したフィードバックの試行－	学会発表	2016年 6 月	第44回日本バイオフィードバック学会学術総会, 東京	榎原雅人, 及川 欧	
5. Heart rate variability biofeedback increases respiratory sinus arrhythmia, a cardiorespiratory resting function (Contributed symposium 28-06, Biofeedback and clinical application of heart rate variability)	シンポジウム	2016年 7 月	The 31st International congress of psychology (ICP2016), Yokohama	Masahito Sakakibara (Symposium organizer & speaker)	
6. バイオフィードバックの臨床実践	講習会講師	2016年 9 月	日本心理諸学会連合第29回大会, 東京	榎原雅人	
7. Effects of heart rate variability biofeedback on cognitive processing of negative stimuli in depressed individuals	学会発表	2016年 9 月	Society for Psychophysiological Research (SPR) 56th annual meeting, Minneapolis	Masahito Sakakibara	

## 高木浩人

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
運動部のマネージャーの性格が選手のモチベーションに及ぼす影響－大学の運動部を対象とした調査－	共	2015年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要第11号	伴真莉乃, 高木浩人	pp.1-9.
制御焦点の場面限定性	共	2016年 3 月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第8巻	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.19-26.
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
大学生の性格特性が組織コミットメントに及ぼす影響－組織メンバーとの性格因子の差異の効果－	学会発表	2015年10月	日本社会心理学会第56回大会(東京女子大学)	石田正浩, 高木浩人	
大学生の性格特性が組織コミットメントに及ぼす影響(2)－個人と組織メンバーとの性格特性の組み合わせ効果－	学会発表	2016年 9 月	日本社会心理学会第57回大会(関西学院大学)	石田正浩, 高木浩人	
組織特性が大学生の知覚する組織の魅力に及ぼす影響－大学生の性格の調整効果－	学会発表	2016年 9 月	日本社会心理学会第57回大会(関西学院大学)	高木浩人, 石田正浩	

## 千野直仁

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 線形・非線形時系列解析とその応用(1)	単著	2015年12月	愛知学院大学心身科学会		pp.89-99
1. 線形・非線形時系列解析とその応用(2)	単著	2015年12月	愛知学院大学心身科学会		pp.101-110
Relationship among communication self-efficacy, communication burden, and the mental health of the families of persons with aphasia.	共著	2016年 3 月	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases, 25	Tatsumi H, Nakaaki S, Satoh H, Yamamoto M, Chino N, & Hanko K	pp.197-205
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
A general non-Newtonian n-body problem and dynamical scenarios of solutions	学会発表	2016年 7 月	The 31st International Congress of Psychology (Yokohama)	千野直仁	

Time series analyses of changes in asymmetric relationships among members over time (2)	学会発表	2016年 8月	日本行動計量学会	千野直仁	
---	------	----------	----------	------	--

### 中島健一

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
日本臨床動作学会シンポジウム	司会	2015年10月10日、11日	日本臨床動作学会, 愛知		
日本臨床動作学会研修会	講師	2015年10月12日	日本臨床動作学会, 愛知		
高齢者動作法ワークショップ	主催	2016年 3月5日、6日	東京		
愛知県臨床心理士会自主シンポジウム	シンポジスト	2016年 5月15日	愛知県臨床心理士会, 愛知		
日本臨床動作学会研修会	講師	2016年 7月23日、24日	日本臨床動作学会, 東京		
日本心理臨床学会自主シンポジウム	シンポジスト 司会	2016年 9月4日	日本心理臨床学会, 神奈川		

### 八田純子

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.若年者における怒り反すう特性とストレス反応との関連	学会発表	2015年10月	日本社会心理学会第56回大会(東京女子大学・東京)	八田武俊, <u>八田純子</u>	
2.Influence of rumination on depression and attribution of self - responsibility	学会発表	2016年 7月	ICP 2016 The 31st International Congress of Psychology (Yokohama)	Hatta T, & <u>Hatta J</u>	
3.Odor identification and cognitive functions in older adults: Evidence from the Yakumo Study	学会発表	2016年 7月	ICP 2016 The 31st International Congress of Psychology (Yokohama)	Hatta T, Katayama N, Katoh K, Iwahara A, <u>Hatta T</u> , <u>Hatta J</u> , Higashikawa M, Hotta C, & Ito E	
4.若年者におけるネガティブ反すう特性と入眠困難との関連	学会発表	2016年 9月	日本社会心理学会第57回大会(関西学院大学・西宮)	八田武俊, <u>八田純子</u>	

### 牧田潔

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
災害復興期の心理社会的支援の課題 - 家族支援の視点から -	共	2015年11月	心的トラウマ研究10号	山本沙弥香, 牧田 潔, 藤井千太 他	pp.9 - 18
Differences in brain hemodynamics in response to achromatic and chromatic cards of the Rorschach: A fMRI study	共	2016年 1月	Rorschachiana	Masahiro Ishibashi, Chigusa Uchiumi, Minyoung Jung, Naoki Aizawa, <u>Kiyoshi Makita</u> , Yugo Nakamura, Daisuke N Saito.	pp.41 - 57

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
惨事ストレスへの対策と予防	講演	2015年10月	四日市消防本部, 四日市	牧田 潔	
メンタルヘルスと惨事ストレス	講演	2015年12月	岐阜県消防学校, 各務原	牧田 潔	
惨事ストレス	講演	2015年12月	岐阜県消防学校, 各務原	牧田 潔	
看護職員間のパワーハラスメント(職場いじめ)と職場の組織風土との関連性.	学会	2016年 5月	日本トラウマティックストレス学会第15回大会, 仙台	牧田 潔, 山本紗弥香	
The relationship between projective psychological test score and the structure of human brain.	学会	2016年 7月	The 31th International Congress of Psychology, Yokohama	Daisuke N Saito, Chigusa Uchiumi, Naoki Aizawa, Kiyoshi Makita, Yugo Nakamura, Masahiro Ishibashi.	
Seeking Neural correlates of the Rorschach Response: a fMRI study.	学会	2016年 7月	The 31th International Congress of Psychology, Yokohama	Masahiro Ishibashi, Chigusa Uchiumi, Naoki Aizawa, Kiyoshi Makita, Yugo Nakamura, Daisuke N Saito.	

### 松岡弥玲

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.Age and cultural differences in Gains, Maintenance, and Losses between Japanese and American across the lifespan	ポスター発表	2016年 7月	International Congress of Psychology, Yokohama	Mirei Matsuoka, Tory E Higgins, Andrea Radossi, Felicia A Hardi	
2.The Relation between Motivation for Child - Rearing and Social Support in Japanese Mothers	学会発表	2016年 7月	International Congress of Psychology, Yokohama	Naoko Nakashima, Haruna Tachibana, Mayuko Matsumoto, Sachiko Kobayashi, Mirei Matsuoka, Hideharu Sugimoto, Toshihiko Hayamizu	
3.Mothers' Motivation for Child - Rearing Investigated Using the free description method	ポスター発表	2016年 7月	International Congress of Psychology, Yokohama	Haruna Tachibana, Naoko Nakashima, Mayuko Matsumoto, Sachiko Kobayashi, Mirei Matsuoka, Hideharu Sugimoto, Toshihiko Hayamizu	
4.自己調整方略のライフコース(3)獲得, 維持, 喪失の生涯発達変化-日米比較を通して-	口頭発表	2016年 4月	日本発達心理学会第27回大会, 北海道	松岡弥玲	

### 吉川吉美

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
動作法によるリラクセーション	講師	2015年10月	名古屋健康カレッジ	吉川吉美	
ストレスマネジメント	講師	2015年11月	岡崎市民病院	吉川吉美	

臨床動作法について	講師	2015年11月	広島ファミリールーム 研修会	吉川吉美	
ストレスマネジメント	講師	2015年12月	愛知県立情緒障害児短期 治療施設ならわ学園	吉川吉美	
臨床動作法研修会	講師	2016年3月	ベトナム ダナン師範 大学	吉川吉美	
ストレスマネジメント	講師	2016年3月	大阪システムアプロー チ研究所	吉川吉美	
臨床動作法の実践	指定 討論	2016年6月	東北動作ネットワーク ジャパン	吉川吉美	
ストレスマネジメント	講師	2016年7月	福島ストレスマネジメ ント研究会	吉川吉美	
Dosha-hou	講師	2016年7月	Internation School Psychology Conferer	吉川吉美	
心理リハビリテーション	講師	2016年8月	福島歩みの会	吉川吉美	
スパービジョンを巡って	司会	2016年9月	日本心理臨床学会第35 回大会 シンポジュー ム	吉川吉美	
臨床動作法研修会	講師	2016年9月	秋田県南動作法研究会	吉川吉美	

## 若山和樹

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 欧米におけるゆるし研究の心理学史	単著	2015年12月	愛知学院大学心身科学 部紀要, 11巻		pp.79-88